

CUY21EDIT 遺伝子導入装置

スクエアパルス式 エレクトロポレーター

アプリケーション In Vivo In Ovo In Utero Ex Vivo

成体マウス・ラット組織(筋肉・肝臓・皮膚・精巣・卵巣・眼球・膀胱・腎臓等) 腫瘍(ガン組織)
成体・新生児マウス・ラット脳 マウス・ラットエンブリオ(子宮内胎児)
新生児マウスの網膜・角膜 チックエンブリオ 植物種子



特徴

スペシャル仕様エレクトロポレーター

CUY21EDIT は、In Vivo・In Ovo・In Utero・Ex Vivo 等のエレクトロポレーションをされている研究者方の色々な要望を取り入れて専用に製作されたスペシャル仕様のエレクトロポレーターです。

正確な低電圧コントロール

In Vivo・In Ovo・In Utero・Ex Vivo 等のエレクトロポレーション条件設定として頻繁に使用される低電圧(特に、100V 以下)が正確なスクエア波で出力されます。1V から 500V まで設定でき、1V 刻みの電圧設定が可能です。

安全機能

実験を安全に行う為に高電流出力を制限するリミッター機能内蔵(電極を手で持ちながら行う In Vivo エレクトロポレーション実験で、実験者の感電を防止する為)。更に安全の為、パルス出力前に警告ブザーが鳴り、パルス出力中には赤色ランプが点灯します。

抵抗値測定機能内蔵

電極間(組織・バッファ)のパルス出力前後の抵抗値を最大 18k まで測定できます。エレクトロポレーションの条件設定をする上で、設定電圧と共に重要な実行電流値を予測できます(電圧を抵抗値で割算する---オームの法則)。電極が組織・バッファにプラス極・マイナス極ともに接触し通電しているかのチェックができます。

パルス時間・間隔・回数を任意に設定

パルス時間(0.1~999.9ms)、パルス間隔(0.1~999.9ms)を0.1ms刻みで正確にコントロールし、パルス回数は最高99回まで設定可能です。

実行電流値・実行電圧値測定機能

パルス出力後の実行電流値・実行電圧値を自動測定します。エレクトロポレーションの実験が成功するか否かの鍵を握る実行電流値を知ることは極めて重要です。

仕様

DC 波形	スクエア	リミッター機能	安全の為、高電流出力を制限 1~125V リミット 5.0A 125~250V リミット 2.2A 250~500V リミット 1.0A
抵抗測定値	18k まで(オートレンジ切替)		
設定電圧	1~500V (1V 刻み)		
設定パルス時間	0.1~999.9ms (0.1ms 刻み)	実行値測定	電圧:1~500V 電流:0.01~4.00A
設定パルス間隔	0.1~999.9ms (0.1ms 刻み)		
設定パルス回数	1~99 回	パルス出力ブザー	安全の為、パルス出力前に警告ブザー
メモリー機能	2条件をメモリー可能	電源	単相 100V 5A 50/60Hz
	項目(電圧・Pon・Poff・回数)	寸法・重量	390W x 450D x 250H mm・15.4kg

掲載商品の仕様及び外観は、改良の為予告なく変更される場合がありますので、ご了承願います。

ネッパジーン株式会社

TEL:047-306-7222

E-mail:info@nepagene.jp

FAX:047-306-7333

http://www.nepagene.jp